



こぼれる笑顔 明日も輝け (成人式)

# さかわ *Sakawa* 議会だより

57  
2014.2.1

発行 高知県佐川町議会

12月定例会

contents 目次

町指定文化財



上町に移築された名教館

消防救急無線デジタル化	3
目指す町の姿は(一般質問)	5
若い力	13
鷹ノ巣養豚団地跡地利用(あの質問のゆくえ)	14

# 12月定例会で決まりました



平成25年度12月補正予算

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	1億9437	67億5582
国民健康保険特別会計	3030	19億1593

12月定例会は、12月6日から12日までの会期で開かれました。平成25年度補正予算をはじめ、条例改正など議案13件、報告3件、諮問1件を審議し、採決の結果、賛成全員で全件可決しました。議員発議による意見書は3件を審議し、2件が可決され、1件が否決されました。

## 報告案件

### 工事請負契約の変更

佐川町立黒岩中学校耐震補強及び大規模改造工事を300万円の増額  
 体育館の防水シートが劣化したため追加工事が必要になった。また消火栓の老朽化に伴い、取り換えが必要になったことによる増額。

## 条例制定

### 技術管理者の資格の基準を制定

廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正されたことに伴い、一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格の基準を定める。  
 (12月13日施行)

## 総合整備計画

### 中野・瑞応辺地に係る総合整備計画の策定

平成25年度から29年度までの5年間で、中野・瑞応地区に飲料水供給施設を整備するため、財政上の規定により総合整備計画を策定する。

## 人権擁護委員

西森 精一氏  
 佐川町本郷耕1-1-27番地

## 飲料水供給施設新設事業分担金を決定

フスボリ地区飲料水供給施設新設事業の分担金を定める。  
 分担金の額は10万円。  
 (12月13日施行)

### 加茂辺地に係る総合整備計画の策定

平成25年度に長竹・横山地区の町道を整備するため、財政上の規定により総合整備計画を策定する。

## 工事請負契約締結

町道市ノ瀬線道路改良工事  
 (契約の方法)  
 指名競争入札  
 (契約金額)  
 5145万円  
 (契約の相手)  
 大川建設株式会社

# 12月 補正予算 ピックアップ



高吾北消防本部

**高吾北広域事務組合  
負担金事業**  
1億6715万円

高吾北消防本部、消防  
救急無線をデジタル化する。

**廃止路線代替バス  
運行補助事業**  
△1152万円

黒岩観光のバス購入補  
助について、当初予定し  
ていた低床バスを小型バ  
スに変更したことによる  
減額。

**こうち農業確立  
支援事業**  
2073万円

J A コスモス永野出張  
所ニラ小袋包装機2台が  
老朽化したため、入れ換  
える。

**障害者自立支援事業**  
403万円

平成24年度の実績確  
定により国・県への補助  
金を返還する。

**更生医療事業**  
1000万円

生活保護受給者が入院  
透析を開始したことによ  
り、医療費の増加による。

**乳幼児医療費助成  
事業**  
200万円

未熟児養育医療費が当  
初の想定を上回ったため。

平成26年  
**第1回臨時会**  
1月20日開会

人  
事

**副町長**  
村田 豊昭 氏  
佐川町甲1612番地13



(賛成全員)

**意見書**  
国にもの申す

総理大臣をはじめ、  
関係機関に意見書を提出

**子ども・子育て支  
援新制度をすべて  
の幼い子どもの育  
ちを支える制度と  
するための意見書**  
(提出者 産業厚生常任  
委員長 岡村 統正)

国は、最短で2015  
年4月から子ども子育て  
支援新制度を施行すると  
して、制度の実施主体で  
ある市町村に対しても施  
行準備を進めるよう求め  
ているが、保育関係者だ  
けでなく多くの自治体か  
ら不安の声が上がって  
いる。

国及び国会におかれ  
は、子どもの権利を最優  
先に、地方自治体の実情  
を踏まえたうえで、国と  
地方自治体の責任のもと

に保育制度の拡充を図ら  
れるよう強く要望する。  
(要旨)

**環太平洋経済連携  
協定(TPP協定)  
交渉参加から直ち  
に撤退することを  
求める意見書**  
(提出者 産業厚生常任  
委員長 岡村 統正)

TPPは、農林水産業  
はもとより医療、労働、  
金融、食品安全など国民  
生活のあらゆる分野に影  
響することが予測されて  
いる。とりわけ高知県な  
どの中山間地域を抱える  
地方では、TPPによつ  
て地域経済の崩壊が懸念  
されているだけでなく、  
地域経済を支える中山間  
の農林水産業への甚大な  
影響に伴い、美しい自然  
の景観、美しい里山・田  
園風景が荒廃していくこ  
とも予想される。

よって、国におかれて  
はTPP交渉から直ちに  
撤退することを強く要望  
するものである。  
(要旨)

ここを

# 聞いてみた

# 議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

## 高吾北広域事務組合負担金の財源は

**森議員** 高吾北広域消防

本部、消防救急無線のデジタル化として、大きな補正予算が計上されている。財源となる地方債の内容と、補正で組む理由は。岡林総務課長 消防救急無線の高度化や電波の有効利用といった観点から、平成15年の電波法の関係法令の改正により、全ての消防救急無線において、デジタル方式へ移行することが規定されたことを受け、実施するもの。

財源は、国の財政支援策の緊急防災・減災事業債の制度で、対象事業費の100%が充てられ、元利償還金の70%が交付税措置をされる有利な制度となっている。補正予算で計上する理由は、財源となる起債制度の中で、消防無線デジタル化のメニューが今年

度限りの措置となる可能性が高まったため、事業を1年前倒しして実施することになった。

## 飲料水供給施設分担金の算定基準は

**中村議員** 1世帯当たり

10万円となっているが、算定基準はあるのか。渡辺産業建設課長 県単独事業で実施するもので、同じ事業で、平成22年度と平成24年度に西山耕地区を実施し、分担金10万円としており、これに合わせ定めるもの。

## 議員各位の意思表明

賛否表(平成25年12月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	松本正人	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
平成25年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フスボリ地区飲料水供給施設新設事業分担金徴収条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中野・瑞応辺地に係る総合整備計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
加茂辺地に係る総合整備計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の一部廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
訴えの提起	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子ども・子育て支援新制度をすべての幼い子どもの育ちを支える制度とするための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環太平洋経済連携協定(TPP協定)交渉参加から直ちに撤退することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定秘密保護法案の廃止を求める意見書	○	○	●	○	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○

## 工事請負契約の落札率のご判断する

**永田議員** 町道市ノ瀬線道路改良工事の請負契約において、落札率96・

6%は、以前であれば、高い落札率であると思うが、どのように判断するか。

堀見町長 今、労務費や材料費が上がるなど、県の仕事も含め落札されたい案件が続いており、大変な状況になっている。落札率96・6%は、こういった実情を踏まえれば、適正な競争入札が行われたと判断している。

8人が町政を問う

ここが聞きたい



森 正彦 議員

堀見町政

# 目指す町の姿は

町長 町の人が生き生きと輝くまち

堀見町政の施政方針と目指す町の姿、そしてそれを実現するための計画、第5次佐川町総合計画の策定について聞く。

堀見町長 佐川町が目指す姿は「町の人が生き生きと輝き、みんながまなびづくりを楽しむ」そんな町をイメージしている。

総合計画については、2年間で合意形成の会議の手法やソーシャルデザインとしての地域課題解決の手法を取り入れ、しっかりとつくっていきたい。

ソーシャルデザインとは

どのような社会を築いていくかの計画



堀見町長 施政方針を語る

町の機構改革

# 効率的な組織に

町長 検討し結論を出す

職務を効率よく執行するには、職務機構の適正化が重要である。視点は、町民へのサービス、町の発展にどのような組織形態が良いのかということだ。機能する組織で役場や町全体が活性化するように、機構改革をすべきた。堀見町長 ニーズが多様化する中で今の組織でいいのか、役割をしっかりと果たしているのか、本来の目的を果たしているのか、改めて組織というものを直視し見極めて、役場組織がどうあるべきか検討して結論を出したい。

住民センター

# 早急に建設を

町長 早期実現を検討

コスモス農協斗賀野支所が耐震化による改築の方向で進んでいる。

改築となると、現在の農協のホールはなくなり、集会所等の開催に困る。農協では、用地を無償で提供すると協力的だ。

斗賀野地区には、他の地区のような町民が集会等に利用できる施設がない。早期の実現を。



改築予定のJAコスモス斗賀野支所

堀見町長 住民センターの設置については、斗賀野地区の自治会長並びに地区選出の議員の皆様から要望書をいただいた。県の補助金も頭に入れないながら地元の方々と話しをして、できるだけ早期に実現できるように検討したい。



松浦 隆起 議員

町長の政治姿勢・事業仕分け

# 行うのか

町長 やる予定全くない

町長の目指すまちづくりを目指すためには、必要な財源をどう確保していくのが、町長の手腕にかかってくる。町長は静岡県において、「満遍なく『お助け』をする」行政の支出のあり方に違和感を持ち、事業仕分けをされた経歴を持っている。静岡県では市や町にも勧めていたようであるが、本町においても、事業仕分けを行うのか。

堀見町長 執行部の皆さんと、本町に必要な事業は何か、今まで継続している事業でも佐川町民の幸せを考えたときに継続すべきか、すべきでないか、議論をして精査する。そのうえで議会に諮り、いい事業の見極め、討論ができれば事業仕分けは必要なく、本町において、やる予定は全くない。



移動スーパーはあるが



買い物弱者支援策・デマンドバス

# 導入を

総務課長 町民の意向調査等を実施

高齢化が急速に進んでいる本町にとって、避けては通れない、早急に取り組まなければならない課題が、高齢者の方などが買い物や病院などに行く、いわゆる足がないという切実な悩みとなっている現状だ。  
その支援策として、電話等により、利用者の希望する時刻、場所に迎えに行く形で運行するデマンドバスの導入を。  
岡林総務課長 来年度から作業を開始する予定の第5次佐川町総合計画の策定作業の中で、地域公共交通問題を柱の一つに位置づける。それと並行して、デマンドバス・タクシー等の先進事例及び助成制度の調査、検討を行うための庁内検討チームの設置、地域公共交通会議等の設置などを進める。町民の意向調査等を実施してニーズを把握し、意見を集約し、きちっとした答えを導き出したい。

健康マイレージ

# 制度の導入を

健康福祉課長 住民の声聞き、考えたい

町民の健診受診率を上げ、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につながる「健康マイレージ」制度がある。健康診断の受診やスポーツ活動に参加することでポイントをため、特典を利用できるものだ。本町でも、この制度の導入を。  
岡崎健康福祉課長 24年3月に健康増進計画を立てており、その進行管理を進める中で、先進地の事例を研究し、関係団体、住民の方などから声を聞き、検討については、その議論の中でどうしていくか考えたい。



百歳体操で健康づくり



坂本 玲子 議員

## 中学卒業までの医療費無料化

# いつから実施か

町長 26年度から実施予定

いた。いつからの実施か。また所得制限なし、自己負担なしの実施か。

堀見町長 中学卒業までの医療費無料化は平成26年度の4月から実施予定にしている。

また、入院、通院ともに所得制限は設けない。個人負担は、なしという方向で詰めている。

## デマンドバス導入

# 今の補助金活用を

総務課長 検討したい

町内全ての地域、全ての人が利用できるようにし、今の路線バスの役割も、福祉タクシーの役割も、通学、通勤、通院などにも利用できるデマンドバスがよいと思う。そうすれば、現在補助をしている代替バスの補助金や福祉タクシー券などの予算を活用できる。

まずは、町民のニーズを調べ、業者についても調整をしていく必要がある。

る。本当に利用したい方の声も聞き、使う人が安心して使えるシステムや料金設定が必要だ。岡林総務課長 どれだけの住民の方が必要としているか、各地域の拠点をどうするか、どれだけの財源が必要か、また運賃の設定、運行頻度などを調査し考えたい。福祉タクシーなどについても含めて協議し検討したい。



元気いっぱい 加茂中野球部

## ごみ収集委託問題

# 談合防止策は

総務課長 コンプライアンスの確立で



収集車を待つごみの山

ごみ収集の談合が疑われている。町として、どういった談合防止策を考えているか。

近年、経済効率のみを重視して若年層が安定した職に就きにくい状況にある。安心して働くには賃金の保障や社会保険への加入が必要だ。ごみ収集の委託を行っている業者のみならず工事を請け負っている業者などにも、そこで働く人の賃金、保険等はどうかを調べた上で、適切な指導をすべきだと考えるがどうか。

岡林総務課長 ごみ収集委託に関しては予定価格を非公表とし、最低制限価格を設定している。さまざまな努力をしているが、基本的には業者と町がコンプライアンス（法令順守、企業倫理、社会貢献順守）の確立に向けて取り組むことが談合防止につながる。

堀見町長 労働者への適正な賃金の支払い、社会保険等への加入を今後、周知徹底し、労働条件の改善に取り組むよう指導していく。

## 霧生関問題

# 町の方針は

町長 法的な確認必要

中村 卓司 議員



ストップしたままの霧生関公園

ほとんどの町民が望んでいない霧生関公園事業。今は、境界、火葬庫の問題で一時ストップしているが、町として今後どのような方向で進めていくのか。

堀見町長 町長選挙戦の中、大半以上の方が公園をつくることに疑問を持たれていた。しかし、さまざまな問題があり、法的にも確認をした上での確な判断をして3月議会で方針を打ち出す。

## 上町歴史的まちづくり整備事業

# 継続する考えか

町長 今後も継続



整備が進む上町地区

上町歴まち事業は、あれほどの金額を投じて本當に町のためになるのかという声もあるが、町として今後継続して取り組む考えなのか。

堀見町長 牧野公園のリニューアル事業は今後10年間、また上町歴まち事業は5年間延長して事業を進める。その間、国土交通省にもお願いをし、事業を行っていききたい。



大雨ですぐ水没する黒原の沈下橋

## 黒岩地区水害対策

# どうするか

町長 積極的に取り組む

黒岩地区の水害対策事業は、今少し前進したとはいえ、緒に着いたばかりと考える。現場の地域の皆さんは非常に頑張っている。町としての手助け、協力は、どのように行うのか。

堀見町長 県や越知町、また地元の方々の調整役、推進役として、積極的に取り組み、専門部署、専門担当者を決めて、来年度以降、県の事業の推進に合わせ取り組む。

その他の質問

- ごみ処理談合問題について。
- 北島病院の介護施設事業について。
- チーム佐川のプレイヤーズをどう動かすのか。

まちづくり

# 拠点整備を

町長 整備取り組む

ごとに整備する必要があると思うがどうか。

岡崎健康福祉課長 第2次地域福祉計画・活動計画において、町内5地区にあつたかふれあいセンターもしくは集落活動センターなど地域の拠点を作することを明記している。

堀見町長 佐川町の5つの地域に拠点となる施設が必要であると考え、地域の施設を調査しバランスのとれた拠点の整備を、長い目で取り組んでいきたい。



集落活動センター たいこ岩

地域の拠点だけでなく、活動へとつながる住民組織の育成が重要だ。

地域福祉や産業振興等で町が取り組んでいる地域のための事業の内容や、将来的な支援施策のビジョンを聞きたい。

渡辺産業建設課長 尾川地区の集落活動センターに続き、黒岩、永野地区からも要望があり、地区の活性化計画策定に住民主体で取り組んでいる。

集落活動センター事業は3年間の県補助があり、町有施設の改修工事や集落活動を支援するソフト事業がある。

岡崎健康福祉課長 地域の連携や機能強化などを果たすため、安心生活基盤構築事業を本年11月より社会福祉協議会に委託し実施している。最長5年間、事業の実施が可能である。

堀見町長 将来的な支援の計画はできていないが、地域活性化のための課題を行政と住民が自分の問題として捉え、解決への行動が大切である。行政ができることは早めに対応をしたい。

高齢者の収納

## 認知症への配慮は

健康福祉課長 情報共有でサポート

町の高齢化率が上昇する中で、85歳以上の4分の1は認知症の疑いがあるとの調査結果があり、町内では250人余りの対象者がいる。近くに家族がいないため、認知症と気づかず生活している高齢者が支払等を忘れることがある。

岡崎健康福祉課長 具体的な取り組みはできていないが、日ごろより町の保健師やケアマネージャー、地域の民生委員さんなどで情報を共有し、認知症の方へのサポート対策を講じていきたい。

橋掛収納管理課長 関係各課で情報共有し対応したい。

収納(各種税金や利用料等の納付)への配慮について聞きたい。



認知症サポートの学習中 (加茂中学校)



下川 芳樹 議員

これを解決するには、行政と住民がまちづくりに対する意識を改革し協働することであり、そのための住民の拠点を地域

住民組織の育成

## 支援策は

町長 行政と住民で解決へ

霧生関公園について、前町長よりどのような形で引き継がれているのか。住民が、あまり必要としないものを後々の課題要因として残さないために中止するのも一つの決断ではないのか。

## 霧生関問題

# 中止の決断は

町長 3月議会で方針示したい

今橋 寿子 議員



堀見町長 前町長より、引継書と図面をもって計画どおり進めてほしいと説明があり、隣接地の火薬庫、境界線の問題、国との協議、県の開発許可等、県とも協議をして3月議会で方針を示したい。



## 牧野公園

# 今後の構想は

産業建設課長 計画策定中



バイカオウレン

牧野博士ゆかりの植物を増やしている

牧野公園のリニューアル状況と今後の10年計画構想は、どのように取り組まれているのか。長期的な取り組みとなると、その核となる人材が必要ではないのか。渡辺産業建設課長 今後10年ほどの進行計画を策定中で、地域の住民の声を聞き、2月末をめどに計画の完成に取り組んでいる。自然植物公園を造っていくという大構想なので、専門の方にも関わっていただきたいと思う。学校との連携等も深めていきたい。

## 町立図書館の建設

# 署名どう考える

町長 検討進め結論を出す

その他の質問  
○牧野富太郎生誕一五〇年終了後の取り組みは。

文教のまちにふさわしい図書館建設について、24年11月、4237人の署名の要望に対して、町長はどのように考えているのか。  
堀見町長 全町民の3分の1の署名は、大変重く受け止めている。26年度、27年度2年間かけて第5次佐川町総合計画を策定していくので、その中で取り組みとして、佐川町にふさわしい図書館の整備の検討を進め、必ず結論は出していく。



たくさんの人が利用する町立図書館



片岡 勝一 議員

桜座は、教育、文化になくはならない施設だ。費用対効果のみでは計れない。今後の維持管理や基金の見通しはどうか。川井教育長 基金は、毎年約9百万円取り崩しており、26年度末には518万円にまで減少する。桜座は費用対効果だけでは計り知れないものがあり、今後も維持管理に努める。

### 桜座運営管理

# 見通しは

教育長 維持管理に努める

### 生徒の通学路

## 安全対策を

教育長 安全確保に努める

冬期は17時以降、すぐに暗くなる。中・高校生は、制服も黒いために確認しづらい危険である。安全対策のために生徒の帽子、靴、かばんに反射用ステッカー、タスキ等徹底できないか。川井教育長 学校は、佐川警察署の協力で交通安全教室を開催。ルール、マナーの順守に努めているが、歩行者を含めて下校時の一層の安全確保に努める。



さまざまに利用されている桜座だが



荒れかけた八重栗庄田線

### 町道八重栗庄田線

## 本舗装できないか

産業建設課長 国、県に要望

庄田橋より上流の町道八重栗庄田線は、数年前に舗装したが最近はその穴があき、草も生え、荒れ始めた。このままにしておくと、補修に工事費もかさむが、本舗装にできないか。渡辺産業建設課長 町道八重栗庄田線は570メートルある。町単独ではできず、簡易舗装である。国の社会資本整備交付金を要望して、26年度から5年の間に導入したい。具体的には、これから改めて国、県に要望する。

### 鳥獣被害対策

## 年中の駆除は

産業建設課長 被害あれば許可

鳥獣被害には大変困っている。耕作地に入らないようにするとか、追い払うだけでは解決できない。1年を通して駆除できないか。渡辺産業建設課長 捕獲、駆除は、年中許可は法的にできないが、被害状況を把握し、拡大の恐れがあり、防止できない場合に許可が下りる。町長が123名の被害対策実施隊を任命している。本年、わな猟試験で53人が合格、駆除に携わることができ



イノシシ 見た目はかわいいが

## 住宅リフォーム助成制度

# 単独では

町長 耐震化とともに

松本 正人 議員



住宅リフォーム助成制度を来年度より実施する予定となっているが、本町での実施は耐震化事業と抱き合わせて行う予定と聞く。単独ではだめなのか。

また、耐震の工事ができる業者は限られているのではないかと。

堀見町長 住宅リフォームのみで個人の資産価値を高めるような事業に補助金というのは、制度としてそぐわないのではないかと。

耐震工事は特別な許可はいらないと認識している。

## 国保税財政補助

# 町負担分出せ

総務課長 来年度、実施



国保税の抑制は国民的課題

高すぎる国保税の軽減を求めたい。

国は、国保財政について財政補助をすべきとしている。そのうち8割を国が交付し、残りの2割を町財政で負担すべきであるが、その2割を町財政から負担してはいない。まずはそこを改善すべきだ。

岡林総務課長 来年度は、100%繰り入れする。

## 高北病院産婦人科

# 充実を

病院事務局長 医師の確保、努力する



出産ができる設備はあるが

産婦人科を充実させることは大変困難であることは承知しているが、高北病院で出産ができる体制を実現させるべく努力して行くべきだ。

また、せめて出産を控えた妊婦が、出産予定の病院の近くで待機できる支援体制ができないか。

笹岡病院事務局長 高北病院には産婦人科医が1人常駐しており、妊娠34週まで診療しているが、分娩はできない。

分娩体制には複数の医師が必要であるが、医師

その他の質問

- 中学卒業時までの医療費無料化について。
- 霧生関公園事業計画の抜本的見直しについて。
- 一般廃棄物収集事業の請負業者選定方法の見直しについて。
- 交通弱者に対する対策（高齢者等の通院・買物支援）について。
- 青山文庫の処遇について。

# 若い力

町内の地域で頑張る若者たちにスポットをあてて、広く紹介していきます。  
今回は黒岩平野地区で頑張る若者にお話を伺いました。



大谷明寛さん



12月15日 平野でのもちつき大会

その中で、7年前に佐川に帰ってきた大谷明寛さんを中心に紹介します。

—なぜ佐川町に帰ってきましたか。

大阪にいましたが、父親の退職を機に両親とともに佐川町に帰ってきて一緒に農業を始めました。

—苦労したことは何ですか。

まず何を作ったらいいのかわからなかったの、いろいろな作物を作ってみました。素人には手が回らず、どれも失敗続きでした。

—うれしかったことは？

周りに若い人が増えたことですね。

その若い人たちと一緒に平野かかし祭りへの協力や、運動会への参加をしてきました。

また、自分たちで企画して、地域の協力を得ながら、餅つき大会を行いました。子どもたちからお年寄りまで集まって、とても楽しい会になりました。

—これからの抱負は。

少しずつ自分の農業の形ができてきたので、これから先は結果にこだわっていききたいと思えます。

他の若者とともに、仲良く地域を盛り上げるよう頑張っていきたいです。

—佐川町がどんな町になっほしいですか。

活気あふれる町、夢を持てる町になっほしいです。

## 3人の仲間から ひとつこと



皆で盛り上げたかかし祭り

田舎暮らしをしたくて佐川に。老人しかいないと思ってきたが、意外と若者が多くてうれしい。

河嶋 真

地域の子どもの交流は楽しかった。チーム佐川が世界で勝負できるような仕組みを作っほしい。明るい一次産業の見本となるような町にしていければと思う。

真島 心

皆で一つの行事をするのは達成感があり楽しい。仲良く地域を盛り上げていける町になればいい。

中内 辰廣



稼働を開始したメガソーラー

## 鷹ノ巣養豚団地跡 計画の概要は

(平成25年3月定例会)

県内各地でメガソーラー事業が計画されている。本町でも、鷹ノ巣養豚団地跡に計画されているが、その計画の概要は。(坂本貞雄議員)

<関連質問> 片岡議員 森議員

## 総務課長 答 弁

### 新エネルギー対策に活用

協定締結した民間業者の施工により、平成25年11月にメガソーラーが設置完了し、稼働を開始した。

民間業者と20年間の契約で、土地賃貸料3千6百万円、固定資産税約4千万円の収入が見込まれる。

どう  
なった

### 民間会社が事業を推進

佐川町メガソーラー設置事業実施要綱に基づき、鷹ノ巣養豚団地跡で事業を推進。事業者である民間会社と基本協定を締結。

### あなたが選んだ議員の 仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月7日(金)午前9時  
開会予定です。傍聴においでください。

### 議会広報編集委員会

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

### 編集 後記

平成25年、2回も危うく火災を起すところであった。

四万十市西土佐が猛暑日本一となったところ、本町でも酷暑が続いている最中、午前中、野良仕事をして昼食に帰宅時、蚊取り線香を折ると火のついた先端がどこかへ飛んでいった。探してもわからず、脱衣していると、近くの芝が燃え上がり、あわてて消し止めた。

そして年末のこと、昼食直後、外出するつもりだったが、なぜか、きな臭い。火の気はないはずだが、誰かがたき火をしているのかと外へ出て見渡すが、その気配がない。

また部屋に戻ると、同じ臭いがする。見回すと、電話横メモ紙の一点がまぶしく光り、煙も出ていた。その右を見たら、鉛筆立てに凸レンズがさしてあり、太陽の移動に伴い紙に焦点が合い、光と煙が出ていた。臭いを気にせず外出していたなら、確実に火災となっていた。こんな初歩的なミスを犯さず、穏やかな一年を願う。

片岡